



1月号

令和5年1月11日

横浜市立 星川 小学校

校長 羽山 悟

TEL.332-2101 FAX.331-5052

WEB ページ <http://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/hoshikawa/>



ねんめ 151年目のスタートに

ふくこうちょう きむら えみ こ
副校長 木村 恵美子

しんしゆん ようこう かがや あたら とし むか よろこ いちだん かん とし ほじ きゆうねんちゆう
新春の陽光が輝かしく、新しい年を迎える喜びを一段と感じた年の初めでした。旧年中は、150
しゅうねんきねんじぎょう とりくみ とお ちいき ほごしゃ みなさま ほんこう たい こうじょう あらた かん かんしゃ ことば
周年記念事業の取組を通して、地域・保護者の皆様の本校に対するご厚情を改めて感じ感謝の言葉
がつきません。

しゅうねんじぎょう かつどう おお そつぎょうせい みなさま で あ わだとうぶ せいぶ じちかいちゆう
周年事業の活動では、多くの卒業生の皆様に出会うことができました。和田東部・西部の自治会長
のおふたかたには、在校当時のお話を伺うことができました。保護者の皆様の中には、親子二代(あるいは三代)にわたって、本校に通われた方がいます。紅白饅頭でお世話になったお店の方も卒業生で「〇〇先生が担任でした。」と懐かしそうにお話をされました。周年記念品として、11月に掘り出したタイムカプセルの中身を展示するショーケース制作でお世話になった方も「100周年の時に5年生でした。」とおっしゃっていました。150年もの歴史があると、この地域で長きにわたりご活躍の方が本当に多いとしみじみと感じました。

そつぎょう ねん わかも のちから か きょうし めぎ
卒業して10年ぐらいの若者もボランティアとして力を貸してくださっています。また、教師を目指して教育実習に来る卒業生もいます。卒業してから、母校に戻り、後輩たちに積極的にかかわってくれることは、とてもうれしく思います。

げんざいざいこうせい こ しゅうねんじぎょう とお かん がっこう
さて、現在在校生の子どもたちは、周年事業を通してどんなことを感じているのでしょうか。学校やまちのよさでしょうか。歴史の重みでしょうか。または、未来への希望でしょうか。在校生の子どもたちは、学校やまちのすてきなところを大切にしながら、歴史を新しく創り出し、160年、170年とつなげていく担い手と言えるでしょう。子どもたちの10年後、20年後を想像し、わくわく感が膨らんだ151年目が始まる年の初めでした。

はなし か しんがた かんせんしゅう かくだい
話は変わって…。新型コロナウイルス感染症・インフルエンザの拡大
ぼうし む せいげん りかい きょうりよく ねが
防止に向けて、まだ制限するべきことがあり、ご理解ご協力をお願いすることが多い学校生活となりそうです。子どもたちの安全、安心を第一に教育活動を進めていきますので今年もよろしくお願ひいたします。
ことし うどし みなさまがた おお ひやく とし
今年、卯年。皆様方にとって、ウサギのように大きく飛躍する年になることをお祈り申し上げます。

飼育小屋のうさぎ
シロとクロ



今年は僕たちの年！

ふれあいまちつき大会中止のお知らせ

1月28日(土)に予定していましたが、まだ、飲食を伴う行事実施には心配な面が多いため、残念ながら、中止とさせていただきます。